

Voice 1 - 利用者の声



かつやま たかし
勝山喬司さん（志佐・黒汐、33歳）

まつうら党交流公社に勤務。Uターンで松浦市へ戻り就職。ふるさと就職奨励金を活用。松浦の魅力は修学旅行生にPR。

ふるさと就職奨励金の制度は、知人から教えてもらいました。大学への進学で県外へ出て、卒業後そのまま県外で就職しました。家族のいる松浦へのUターンを決めて、現在は、まつうら党交流公社に勤めています。中学生や高校生など修学旅行生の受け入れの手配・調整業務を担当しており、とてもやりがいのある仕事です。学生の時や市外で働いていた時に感じたのは、松浦市を知らない人が多いということ。海と山など自然しかないけれど、それが都会にはないとても良いところだということ。一度松浦から離れたことで見えるようになり、松浦を

知ってほしい、もつとPRしたいと思うようになりました。この松浦の美しい環境で過ごしたいとU・Iターンを考えている人もいます。

松浦は海の幸、山の幸が本当においしく、実際に松浦へ訪れて味わってほしいです。

今後は、中学生や高校生だけでなく、一般のお客様の民泊を増やし、物販などにも力を入れていきたいです。そして、松浦のために何か貢献できたらと思っています。

これから松浦市への就職、移住を考えている皆さんにも、この制度をぜひ活用してほしいです。

Voice 2 - 利用者の声



いなもと まこと
稲本 誠さん（鷹島・原、40歳）

県外の畜産関係企業で働いた後、松浦市へUターン。ふるさと就職奨励金を活用。現在、和牛の繁殖農家として活躍中。

ふるさと就職奨励金の制度のことは、松浦市へUターンを考えて市ホームページや市報などで情報を集めている時に知りました。

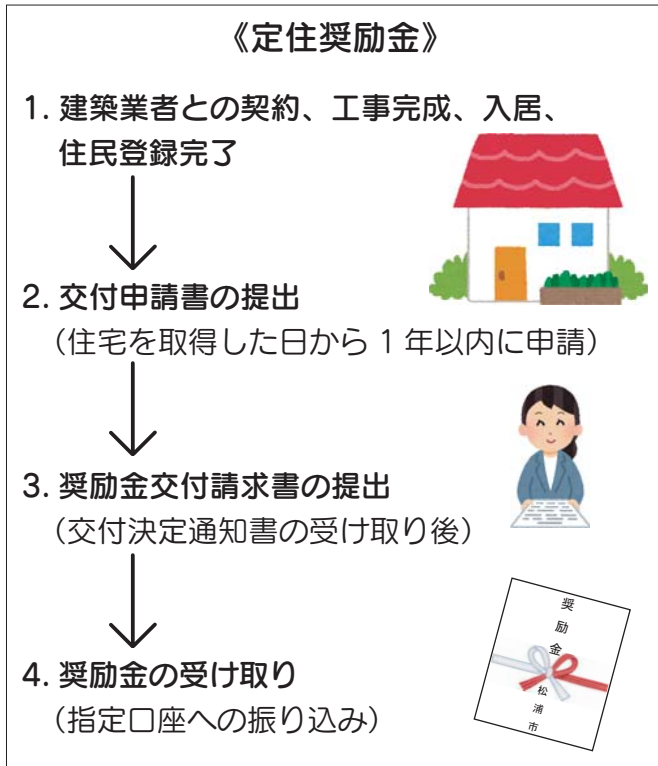
Uターンや移住をする場合、引越などにもお金が掛かるため、この制度はとても役に立ちました。また、農業だけでなく、どんな職業でも申請できるのでとても魅力的な制度だと思います。これからUターンを考えている人にもぜひ活用するよう勧めています。

子どものころから農業をやりたいと考え、畜産の勉強をするために進学し、卒業後も県外で働いていました。4年前に実家のある鷹島へ戻り、ずっとやりたかった和牛の繁殖農家として働いています。また、鷹島では地域ぐるみで子どもを育ててもらっていると感じ、環境にも恵まれています。

市民の皆さんの税金でこの奨励金をいただいているので、地域の人に応援してもらっている気持ちになります。恥ずかしくない経営をしたいと思っています。

現在、母牛24頭を飼育しています。今後、経営規模を拡大していきたいと考えています。これから松浦の畜産業の拡大に貢献できたらと思っています。

奨励金受け取りまでの流れ



※各種申請書や申請に必要な添付書類など、詳細については、政策企画課へお問い合わせください。市ホームページでもご確認いただけます。



松浦市では、「住みたいまち、住み続けたいまち」づくりを目指して松浦市若者新生活応援制度のほかにも、定住促進住宅や子育てに関するさまざまな支援制度を設けています。松浦市への移住を検討している皆さんに向けて、現在建設中の定住促進住宅「今福梶の葉団地」では、4月1日からの入居者を募集しています(※3月11日募集締切)。

定住促進住宅には、子育て世帯や市外からの転入世帯に対する家賃の減額制度があります。制度の詳細は、

松浦で暮らそう！

—松浦市の各種支援—



都市計画課(☎内線214)へお尋ねください。

また、保育所に入所する第2子以降の保育料無料化や乳幼児から高校生等を対象とした医療費助成、ベビー用品の貸し出しなど、松浦市独自の子育て支援を行っています。詳しくは、子育て・こども課(☎内線171)へお尋ねください。

支援制度を活用し、松浦市で暮らしてみませんか。市民皆さんが安全に安心して暮らせるよう、市では皆さんの新生活を応援します。

○問合せ先

政策企画課企画統計係 ☎内線315